



はんのう 民児協だより

発行/飯能市民生委員・児童委員協議会

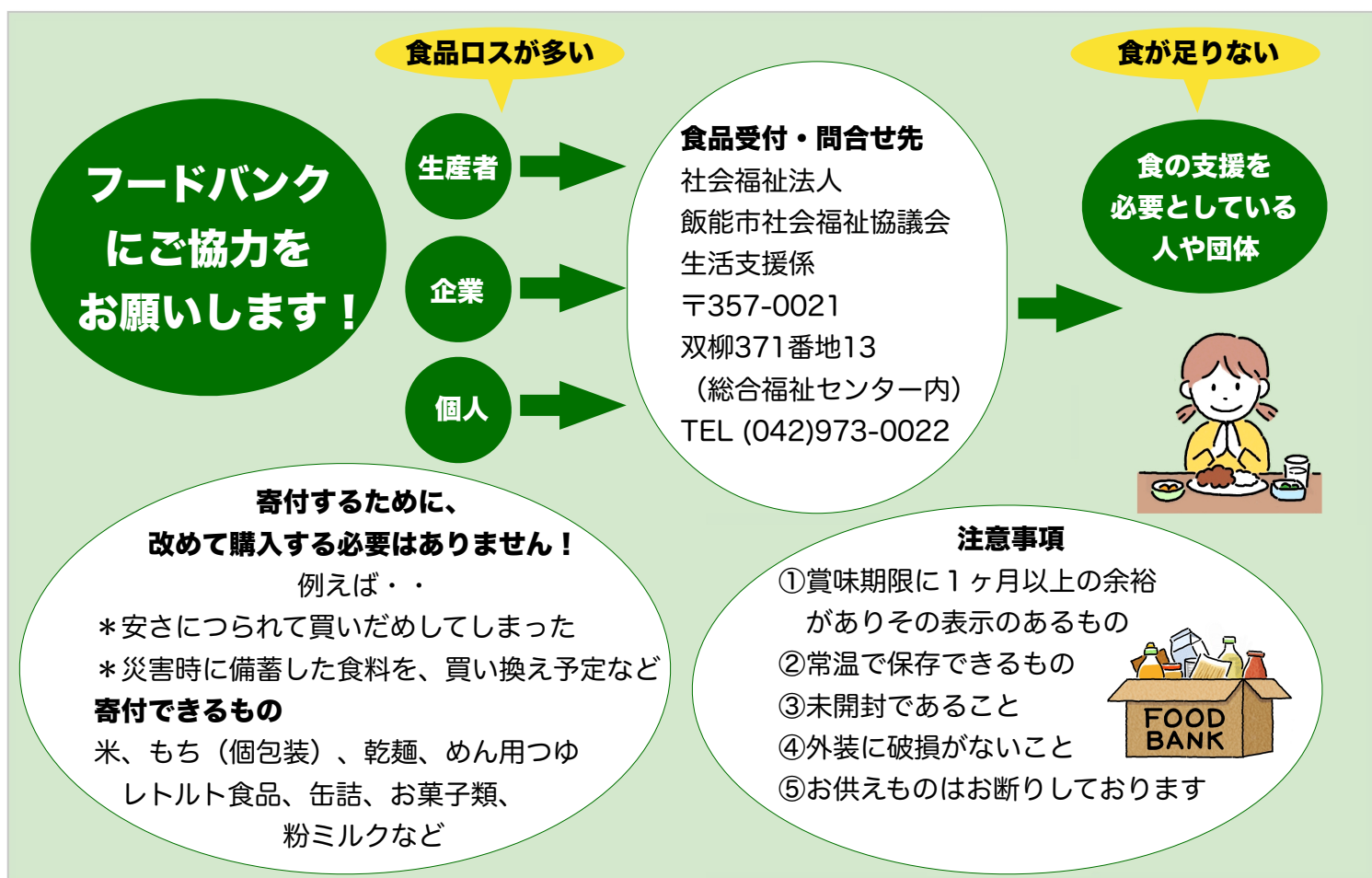
編集/広報委員会

事務局/飯能市福祉子ども部 地域・生活福祉課内

TEL(042)986-5081(直通)

社会福祉協議会で取り組んでいるフードバンクに民生委員も協力しています。

飯能市社会福祉協議会は「食品ロスの削減」を目的に、企業や市民の皆さんから食料を寄付していただき、経済的な事由で相談中の世帯や、福祉施設等は無償で提供しています。今年の7月頃より、飯能市民生委員・児童委員協議会も、この活動に協力してまいりました。市民の皆様にもフードバンク活動を広く知っていただき、対象となるような食料がある場合などにはご寄付いただければ幸いです。



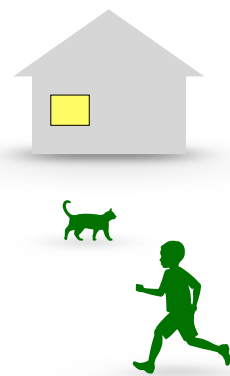
使われないことが幸せなこと

飯能第一地区 広報委員

我が家の門扉には「子どもを守る家」の黄色いプレートがつけてあります。毎年、年度末になると「守る家」についてのお礼の手紙が届きます。一枚一枚読んでいくと、微笑ましい1年生の手紙から、しっかりした6年生の手紙まで成長の様子が伺えます。そして、役に立っていることが分かり、嬉しくなります。

「子どもを守る家」は使われないないことが幸せなことです。使われないのだから不要だということではなく、そこにあることに意味があると思うと心が温かくなります。

今年も1ヶ月で終わろうとしています、これからも一日一日が安心安全でありますようお願いしています。



「困ったら相談を」繰り返し呼びかけられる言葉です。けれども、現状、支援を必要とせず暮らしている方であっても、そうなった時のことを想像するとどうでしょう？
苦しくても声をあげることができない人が私たちの周りにもいるのかもしれません。
今号では助けてと言にくいと思われる「ヤングケアラー」と「生活困窮」を取り上げました。

ヤングケアラー

ヤングケアラーとは、病気や障害がある家族のために、本来大人が行うような、家事や家族の世話・介護などのサポートを行なっている18歳未満の子どものことです。

障害や病気のある家族のために ヤングケアラーが日常的にしていること



家計を支えるために
労働をして助けている



幼いきょうだいの
世話をしている



買い物・料理・洗濯
などの家事をしている



身体的なケアをしている
(看病、見守り、トイレの介助など)



精神的なケアをしている
(話し相手になる、愚痴を聞くなど)

責任や負担の重さにより ヤングケアラーが諦めてしまっていること



勉強や受験、進学



部活などの課外授業



自分だけの時間を持つこと



友達と放課後に
遊ぶこと



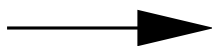
子供らしく
自由に夢を描くこと



理解されること
気軽に相談すること

埼玉県では、ヤングケアラーが元ヤングケアラーに日常の悩みを相談したり、話を聞いてもらえる場所として、LINE相談窓口を開設しています。

ヤングケアラーのための
LINE チャンネル登録受付中



ケアのこと、家族のこと、学校や進学のことから日常の悩みまで、お近くの民生委員・児童委員に気軽にご相談ください。



生活保護
「ためらわず相談を」

生活保護の申請は「国民の権利」です。

生活保護を必要とする可能性は
どなたにもあるものですので、
ためらわずにご相談ください。

地域・生活福祉課生活保護担当

電話 042-973-2111 内線163～166

扶養照会について

コロナ禍で生活に困窮する人が増加していた頃、親族に知られたくない(実家の高齢の両親など)という理由で生活保護の申請をためらうケースが多いことが相談会でのアンケートなどで明らかとなりました。扶養義務者への照会は、扶養義務履行が期待できる方に対して行います。以下のような場合は基本的には照会を行いませんので、お申し出ください。

扶養照会をすることで問題解決にならないと考慮される事案(照会しない)

- ・家庭内暴力を受けて逃げている相手
- ・過去に虐待を受けたことがある相手

扶養義務履行が期待できない方

(照会しないものとして差し支えない)

- ・生活保護を受けている方、福祉施設入所中の方や長期入院の方
- ・概ね70歳以上の高齢者や未成年者、専業主婦・主夫の非稼働者の方
- ・特別な事情があって明らかに扶養ができないと考えられる方
- ・交流が断切している方(10年程度の音信不通など)

住宅や車について

- ・現在お住まいの住宅や障害のために必要な自動車などは、一定の条件のもとにその保有が認められる場合もあります。

きまぐれ駄菓子屋

日曜日になると、朝から子どもたちの明るい声が響いてきます。近所の女子大生たちのグループが、旧文具店の店舗を借用して、毎週日曜日に運営している「きまぐれ駄菓子屋」に集まる子どもたちの歓声です。お金の持ち合わせがない子どもたちも、大人たちのご奉仕による金券チケット（つながるチケット）を利用して駄菓子を購入することができます。時折、協力する地元の大人たちによる科学実験などの体験コーナーが開かれたりもしています。開設当初はまばらだった子どもたちですが、口コミや彼女たちの広報活動によって、今はたくさん子どもたちが集まるようになりました。（彼女たちのグループは**一般社団法人カプリチョーソ**といいます。）

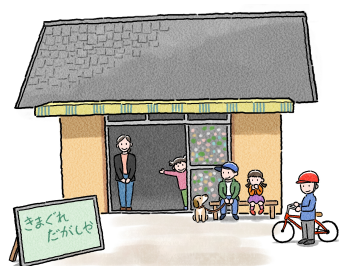
最近は月1回、公民館の調理室を借りて「子ども食堂」を開催しています。公民館の隣の空き地では、子どもたちが、協力団体の大人たちと一緒にモルックを楽しんだりしています。

「子どもたちの居場所」づくりを目指した彼女たちの活動に、青少年健全育成の会をはじめ、地元小学校のおやじ組等々、複数の団体が協力しています。地域の民生委員もお手伝いをしています。それでも人手が足りず、大人の参加者の募集が続いています。

将来的には、子どもから高齢者まで一緒に楽しめるコミュニティの場にしたいという構想を持っているとのこと。若者のエネルギー、頼もしい限りです。

古くから続くコミュニティと、平成・令和から始まったコミュニティとが混在する地域ですが、世代を超え、既存の枠組みを超え、新たな繋がりによる「生き心地のよい地域」づくりの予感に胸が高まります。

精明第一地区 広報委員



双柳小学校から徒歩3分

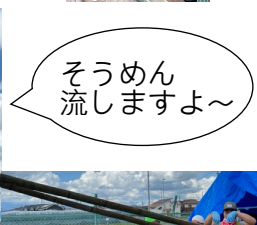
双柳1214-3（双柳中央 バス停からすぐ）

オープン日
毎週日曜日
10:00
17:00

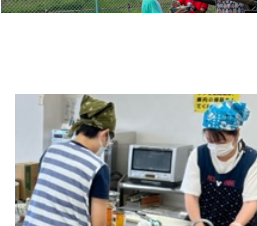
2023年8月、それは竹取物語から始まりました。 (こども食堂の流しそうめんを使う竹を取ることから)



代表の粕谷彩葉さんと
双柳小おやじ組の皆さん



そうめん
流しますよ～



↑子ども達が待ち構
えるところには、
直射日光と雨対策
でテントを設置

一般社団法人カプリチョーソ

HP: <https://sites.google.com/view/capriccioso/home>

カプリチョーソとは音楽用語で「気まぐれに」という意味。私たちはこの名前に、子どもたちが、時に走って、時にゆっくり休んで、自分のペースで成長してほしいという願いを込めました。自然体で安心してすごせる場所を提供できればと思っています。既に、多くの地域の方々に、ご協力をいただいておりますこと、この場を借りて感謝の思いをお伝えしたいです。

大学生として始めた活動でしたが、主体となっているメンバーが来年は社会人となります。子ども達からは「平日もオープンして」という要望もありますが、現状でもそれに応えることができずにおり、現在、スタッフやボランティアを大募集中です。会計は、通常、子どもたちがセルフレジで行うことができます。お茶飲み友達同士で、このスペースを使っていただきながらのお店番でも構わないので、どなたかご協力いただける方を募集中です。また、他に、会計上の申請書類作成などの事務作業もお願いできればと考えております。持ち出しで運営している部分も多々あり、賛同いただけるようであれば、資金面での応援も活動継続の力となります。何卒よろしくお願い致します。下記の通り、各種SNSで情報も発信しております♪



Lineオープンチャット Instagramアカウント X(旧Twitter)アカウント

支え合う 住みよい社会 地域から 「全国民児協スローガン」

10月5日 令和5年度埼玉県西部ブロック別市町村民生委員・児童委員協議会会長連絡会議が、11年ぶりに開催当番市となった飯能市（総合福祉センターに於いて）で開催されました。22市町村から42名の方々が出席されました。

この県内4ブロック別の連絡会議は、同じ活動を担う民生委員・児童委員同士が意見交換を行うことにより、埼玉県の地域福祉活動の推進に寄与することを目的としているものです。当番市として「わがまち取り組み自慢」の発表を行い、参加した私たち3名（井上・石田・鈴木）にとりましても、貴重な交流の機会となりました。得られた学びを今後の活動にも活かしていきたいと考えております。

飯能市民生委員・児童委員協議会



会長 井上久美子



副会長 石田賢一



副会長 鈴木正男

民生委員・児童委員 の役割は「地域のつなぎ役」

民生委員・児童委員は、経済的に困窮している方、子育て中の方、高齢者や障害のある方が、地域で安心して暮らせるように支援する活動をしています。お困りごとを一緒に考えていくため、右記のように各部会で研修を行い知識の向上を図り、より適切な担当機関に繋げていくことを第一としております。

抱えている悩みは、一つではなく複合的な場合も多いかと思います。一人で頑張りすぎず、家族だけで抱え込まず、先ずは、お近くの地域の民生委員・児童委員にご相談ください。

4部会と主任児童委員会



高齢者福祉部会 部会長 島田洋一（飯能第二地区）

*介護・認知症・高齢者独居その他高齢者の諸問題に関する研修

10月11日 彩の国すこやかプラザ 見学と実践



障害福祉部会 部会長 常道 登美雄（吾野地区）

*障害のある方や家族及び近隣住民の諸問題に関する研修

10月21日 第29回飯能市福祉スポーツ大会 見学



生活援護部会 部会長 今川 美雪（精明第二地区）

*失業や経済的困窮による生活上の諸問題に関する研修

10月31日 無料低額宿泊所 見学



児童福祉部会 部会長 倉掛 富幸（原市場地区）

*家庭内DV・児童虐待・不登校・いじめ

母子、父子家庭などの諸問題に関する研修

11月15日 山手保育所見学・懇談



主任児童委員会 委員長 古谷 聡子（精明第一地区）

*主任児童委員は特定の区域を持たずに、子どもや子育てに関する支援を行います。6月には飯能市教育部長を講師にお迎えし研修を行いました。

11月15日 ぽかぽかハートヴィレッジ 見学

3名の方が新しく民生委員・児童委員に委嘱されました。（令和5年10月1日委嘱）

佐渡谷 政信（加治東地区） 利根川 正次（加治東地区） 重永 富子（美杉台地区）

編集後記

世界的ベストセラーとなった絵本「ぼく・モグラ・キツネ・馬」の中に以下のようなやり取りがあります。
「今まであなたが言ったなかで、いちばん勇敢な言葉は？」ぼくが尋ねると、馬は答えた。

「助けて」「助けを求めることは、諦めるのとはちがう」馬は言った。「諦めないために、そうするんだ」

子どもも大人も安心して自分の気持ちを話せる場所を増やしていくことが、次の一歩につながるのではないかと思います。

